

学校法人大阪青山学園  
大阪青山短期大学  
機関別評価結果

平成22年3月18日  
財団法人短期大学基準協会

## 大阪青山短期大学の概要

設置者	学校法人 大阪青山学園
理事長名	塩川 和子
学長名	塩川 和子
ALO	松浪 久子
開設年月日	昭和42年4月1日
所在地	大阪府箕面市新稲2-11-1

### 設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
調理製菓学科		80
幼児教育・保育科		100
	合計	180

### 専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

なし

### 通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

## 機関別評価結果

大阪青山短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 22 年 3 月 18 日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成 20 年 6 月 23 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は、建学の精神である「人格の極めて高潔かつ学識豊かな青年の育成にあたる」を掲げ、「高い知性と学識、品位ある振る舞い、豊かな情操を兼ね備えた人材として社会に送り出す」ことを教育の理念としている。

時代の要請に応じて設置学科・専攻を見直し、現在は、調理製菓学科、幼児教育・保育科の二つの学科で構成され、食及び子どもの教育に特化した研究教育が行われている。教養教育は、専門科目と一体となり実施され、質の確保が目指されている。また、学生の能力に対応した免許・資格取得のコースが用意されており、学生のニーズに合わせた教育課程となっている。また、教育改善に関しても、特にここ数年、積極的に全学をあげて取り組んでいる。

両学科ともに、シラバスを『授業計画』という冊子にし、授業開始以前にオリエンテーションやガイダンスで、学生に他の資料とともに配布し、授業内容・教育方法を周知徹底している。毎学期末には、学生による授業評価アンケートが実施され、その結果に基づき、教員自らの評価や反省・改善策を記入する『教員による自己点検報告書』が作成されているほか、平成 20 年度には学生生活と満足度調査が実施され、授業方法の工夫・改善に向けて取り組みが行われている。

学生支援は入学後の学習支援や生活支援が組織的に行われ、基礎学力不足の学生に対して担任及び科目担当教員の連携によって学習支援が行われ、メンタル面、生活面及び進路面などについては、学習支援室及び進路支援センターで、組織的に行われている。

短期大学として教員の研究活動にも配慮し、週に 1 日の研修日が設けられ、研究紀要が発行されるなど教育の研究成果を発表する機会が確保されている。個々の教員の業績は 5 年ごとの「専任教員教育活動報告（平成 14 年）」及び『平成 18・19・20 年自己点検・評価報告書』にまとめられ、公表されている。

社会的活動では、保有する知的資源及び教育関連施設を広く社会に開放・提供し、地域社会の発展、文化向上に資する努力がなされている。

各学科の授業で必要となる教室や実験室、体育館、図書館、パソコン教室などは整備され、設備についても十分にそろえられている。

運営体制は、学長のリーダーシップの下、部科長会において意見聴取し議題の整理がされ、教授会で決定されている。

学校法人全体及び短期大学部門の財務体質は、やや課題があり、その改善に向けて「将来構想委員会」を中心に中・長期の財務計画を検討・策定し、財務体質改善への努力が行われている。

今回の第三者評価を契機に設置された「大学改革委員会」の作業部会では、主要かつ喫緊の課題の解決に向けて、第2次行動計画の策定などの取り組みが開始されている。

## 2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する観点から、本協会は以下の見解を持つ。

### (1) 特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

- 他校にはない、「大阪青山歴史文学博物館」の施設を生かして、国宝・重要文化財などの優れた文化財に触れさせるとともに、本物に触れて学び、感性を磨く教育が行われ、しっかりと教育方針が貫かれている。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

- 華道、茶道を教養科目に取り入れ、日本文化に根ざした専門職の人材養成を目指し、世界を視野にいれて羽ばたける人材養成を目的として、各科では教育内容に即応した実習が実施されている。

#### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 調理コースの学生が学内調理学実習科目として仕入れから調理、販売まで運営のすべてに携わる学内レストランがあり、和・洋・中の多彩なメニューでランチを提

供している。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

- 漢字検定、英語検定、ワープロ検定などに受験する機会を全学対象に設けることにより、基礎的な能力を養う動機付けが行われている。

#### 評価領域Ⅶ 社会的活動

- 調理製菓学科では「平野幼稚園食育講座」、「卒業記念バンケット」が、幼児教育・保育科では「子どもシアター」、「坂の上の音楽会」、「アソビと造形展」など、教育成果を外部に公表する取り組みが実施され、地域社会と密接にかかわっている。
- 地域と連携し、施設を開放することや生涯学習室を整備し、公開講座を開催するなど、開かれた短期大学作りに取り組んでいる。

### (2) 向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域（合・否）と連動するものではないことにご留意願いたい。

#### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 図書館とメディアセンターの二つの設備について学生の利用が十分とはいえない。それぞれの学科の学生が利用できる関連図書を増やすなど、利用を促すことが望まれる。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

- クラブ活動の現状はほとんどが休部状態になっているので、活性化が望まれる。

#### 評価領域Ⅷ 管理運営

- 校務組織上に数多くの委員会があり、開催回数も少なく機能していないものもある。今後、各種委員会の整理統合や効率的開催運用などの改善が望まれる。

#### 評価領域Ⅸ 財務

- 余裕資金はあるものの、短期大学部門及び学校法人全体が支出超過であり財務体質の改善が望まれる。
- 調理製菓学科の入学定員の充足率をあげるように努力されたい。

#### 評価領域Ⅹ 改革・改善

- これまで自己点検・評価活動は平成 18・19・20 年度に実施され、その結果が、この 4 月にまとめられたが、個別の自己点検・評価報告書として作成されていない。今回の第三者評価を機に継続的な報告書の作成と結果の公表が望まれる。

### (3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

### 3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ 教育の内容	合
評価領域Ⅲ 教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ 学生支援	合
評価領域Ⅵ 研究	合
評価領域Ⅶ 社会的活動	合
評価領域Ⅷ 管理運営	合
評価領域Ⅸ 財務	合
評価領域Ⅹ 改革・改善	合

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神は「人格の極めて高潔かつ学識豊かな青年の育成にあたる」であり、創始者の意志を尊重し、継承しつつも現代社会に適合する人材を育てるよう全員に周知徹底が図られている。教育の理念は「高い知性と学識、品位ある振る舞い、豊かな情操を兼ね備えた人材として社会に送り出す」を掲げ実行をしている。また、他校にはない、大阪青山歴史文学博物館の施設を生かして、国宝・重要文化財などの優れた文化財に触れさせるとともに、各科では海外研修が実施されるなど、本物に触れて学び、感性を磨く教育、国際社会に寄与する人材を育てる教育が行われ、しっかりと教育方針が貫かれている。

教育目的・教育目標の点検はこれまで定期的には行われていなかったが、第三者評価の機会をとらえて、時間をかけて検討が行われ、点検の努力がなされている。また、建学の精神や教育理念は学内数ヶ所に大きく掲示されているほか、学生便覧、ウェブサイトなどで明示され、さらに、年度当初の入学式、会議などで言及され、共通理解への努力がなされている。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

教育課程は建学の精神や教育理念を反映し、教育内容はそれぞれの学科の教育目的や目標に基づいて編成されている。教養科目も多く開設されており、教養教育への取り組みも十分なものといえる。また、学生の能力に対応した免許・資格取得の道がコースとして用意されており、学生のニーズに合わせた教育課程であるといえる。また、教育改善に関しても、特にここ数年、積極的に全学をあげて取り組んでいる。

シラバスを『授業計画』という冊子として作成し、授業開始以前にオリエンテーションやガイダンスで、学生にほかの資料とともに配布し授業内容・教育方法を周知徹底している。

### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

各学科は、短期大学設置基準の教員数の規定を充足しており、おおむね整備されている。教育の実施に関しては、部科長会にて協議検討がなされ、責任体制も確保されている。各教員は多忙ではあるが各業務に熱心に取り組んでいる。中でも、調理コースでは、学生が仕入れから調理、販売まで運営のすべてに携わる学内レストランがあり、和・洋・中の多彩なメニューでランチを提供している。

保有する校地・校舎の面積共に短期大学設置基準を十分に満たしている。また、日常的に授業が行われる講義室、演習室、実験・実習室をはじめ、図書館、体育館、博物館も、教育理念にある「本物に触れて学び、感性を磨く教育」が実施されるべく配慮されている箇所が随所にみられ、教育環境が整備され活用されている。

### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

学生生活と満足度調査を実施し、学生の評価を確認し改善に役立てている。また授業アンケートを学期ごとに行い、アンケート調査結果としてまとめ、教員の自己点検報告書を作成して改善を行っている。多くの資格が取得できるようにカリキュラムが工夫されており、学生の多くが資格を取得している。幼児教育では高い実績をあげている。

卒業生アンケートを実施し、回答もおおむね高く、また、専門就職先への卒業生に対する評価の調査では、「仕事に対する意欲」、「職場内の協調性」、「仕事に対する責任感」及びエチケット・マナー教育について高い評価を得ている。今後も継続し、課題を見出して取り組んでいくことが肝要である。

### 評価領域Ⅴ 学生支援

適切な情報提供、公正な入学選抜が実施され、入学後の学習支援や生活支援についても組織的取り組みが行われている。基礎学力不足の学生に対して担任、科目担当教員の連携の下に学習支援が行われている。学習支援室、進路支援センターも開設され、学生に対するメンタル面、生活面及び進路面など組織的に行われている。留学生、社会人学生の受け入れ人数は少ないが、担任や就職支援センターなどにより生活学習支援が行われている。

クラブ活動の現状は、ほとんどが休部状態になっているので、活性化が望まれる。

### 評価領域Ⅵ 研究

短期大学としては、教員の研究活動にも配慮し、週に1日の研修日を設けているが、研究活動の業績不足の教員も若干見られるため、今後一層の努力が期待される。

個々の教員の業績は、研究紀要が発行されるなど教育の研究成果を発表する機会も確保されている。また、個々の教員の業績は5年ごとの「専任教員教育活動報告（平成14年）」及び「平成18・19・20年自己点検・評価報告書」にまとめられ、公表されている。社会活動は多くの教員が行っており、社会貢献を行っている様子が見える。

#### 評価領域Ⅶ 社会的活動

調理製菓学科では「平野幼稚園食育講座」など、幼児教育・保育科では「子どもシアター」など、教育成果を外部に公表する取り組みが実施され、地域社会と密接にかかわっている。

保有する知的資源及び教育関連施設を広く社会に開放、提供し地域社会の発展、文化向上に資する努力がなされている。「開かれた学びの場」として生涯学習室を中心に、正課外教育講座として地域に開かれた短期大学作りが目指されている。

#### 評価領域Ⅷ 管理運営

学校法人の管理運営体制は整っており、理事会の運営、理事の構成、監事の業務、評議員会の運営と構成、いずれも寄附行為や法令に基づいて適切に行われている。

短期大学の運営体制は、学長のリーダーシップの下、部科長会において意見聴取し議題の整理がなされ、教授会で決定されている。教授会の下に各種委員会が設置されているが、開催されていない委員会などもあり、校務組織の見直しと委員会規程の整備が望まれる。

#### 評価領域Ⅸ 財務

日常の出納業務、予算執行等は適切に行われ、監査法人による会計監査や監事による監査が適切に行われており、財務の各業務及び全体の流れは適切である。

全体として、余裕資金はあるものの、学校法人全体及び短期大学部門の財務体質は、過去3ヶ年間支出超過が続いている。改善に向けて、将来構想委員会を中心に中・長期の財務計画を検討・策定し、財務体質改善への努力が行われているところである。今後、収容定員充足率をあげるように努力するとともに財政の健全化に向けての一層の努力が望まれる。

#### 評価領域Ⅹ 改革・改善

「大阪青山短期大学自己評価委員会規程」を制定し、自己点検・評価活動体制は確立しているが、短期大学として毎年度、自己点検・評価を行い、自己点検・評価報告

書として発刊し、外部に公表することが望まれる。日常的には事業計画書・事業報告書を発行して改善・改革に向けた努力を行っている。